

保健社会福祉省、H5N1 亜型鳥インフルエンザウイルス研究に関する国際諮問研修会を開催（12月18日）

保健社会福祉省（Department of Health and Human Services : HHS）は12月17日と18日の2日間、H5N1 亜型鳥インフルエンザウイルス研究に関する会議「高病原性鳥インフルエンザ H5N1 亜型ウイルスに関する機能獲得研究に関する国際諮問ワークショップ（Gain-of-Function Research on Highly Pathogenic Avian Influenza H5N1 Viruses : An International Consultative Workshop）」を開催した。

同会議では、H5N1 亜型ウイルス研究がもたらす利益と、研究中の偶発的または意図的なウイルス放出によるリスクに関する協議が重ねられると共に、2012年11月にHHSが発表した、国立衛生研究所（National Institutes of Health : NIH）によるH5N1 亜型ウイルス研究への研究助成の採否に係る枠組案について、4つの仮想事例研究を用いた検証が行われた。

同省は、同案に関するパブコメを2013年1月10日まで受け付け、それらを取り入れたH5N1 亜型ウイルスの機能獲得研究に関する規則の第2版を発表する予定である。

なお、11月27日に保健社会福祉省が発表した研究助成の採否に係る枠組案は、
<http://oba.od.nih.gov/oba/biosecurity/meetings/Dec2012/Proposed_Framework_for_Guiding_HHS_Funding_Decisions_about_HPAI_H5N1_GOF-12-11-12.pdf>からダウンロード可能。

Science Insider, H5N1 Research Moratorium Could Be Over Soon

<http://news.sciencemag.org/scienceinsider/2012/12/h5n1-research-moratorium-could-b.html>